



# 中央区

※保健だよりは毎月15日号に掲載しています。

**人口** 181,601人  
(前月比171人減)

**世帯数** 109,404世帯  
(前月比194世帯減)

※上記は国勢調査結果(速報値)に基づく平成23年10月1日現在推計。

**中央区役所**  
〒810-8622 中央区大名二丁目5-31  
区役所電話番号案内  
TEL 714-2131  
区ホームページ  
http://www.city.fukuoka.lg.jp/chuo/

期=日時、期間 所=場所 対=対象 定=定員 料=料金、費用 持=持参 託=託児 申=申し込み 問=問合せ ☎=電話 F=ファクス HP=ホームページ 電=メール

## 中央区市民文化祭

次の通り「区市民文化祭」を開催します。ぜひご来場ください。料無料 区地域振興・支援課内市民の祭り運営委員会事務局(☎718-1055 F714-2141)

### 【音楽と演芸の集い】

各校区でサークル活動を行っているグループが日頃の練習の成果を披露。また、舞鶴中学校吹奏楽部、当仁中学校楽隊、筑紫女学園高等学校コーラス部、大濠高等学校応援指導部や子ども会のグループなどが出演します。お楽しみ抽選会もあります。期11月12日(土)午前11時半～午後4時 所中央市民センターホール(赤坂二丁目5-8)



大濠高等学校チアリーダーディング(昨年)

### 【美術作品展】

絵画、書、写真、手工芸など「一般の部」「小・中学生の部」合わせて470点の作品を展示します。期11月15日(火)～20日(日)午前9時半～午後5時半 所市美術館市民ギャラリーB・C(大濠公園1-6)

## 2011アビスパカップ ふぁみりーミニサッカー大会

アビスパ福岡の選手と一緒にプレーする6人制のミニサッカー大会です。期12月11日(日)午後2時～5時 所福岡大学仮設サッカー場(城南区七隈八丁目19-1) 料無料 申問はがきに大会名と参加部門、参加者全員の氏名(ふりがな)、年齢、代表者の住所、電話番号を書いて11月18日(必着)までにアビスパ福岡サッカースクール事務所(〒813-8585東区香椎浜ふ頭一丁目2-17 ☎674-3031)へ。応募多数のときは抽選。

### 【参加部門・チーム構成】

部門	チーム数	出場選手
ファミリー	24	小学生(3年生以下)3人と大人3人
レディース	12	小学生以上の女性6人

※1チーム6人以上で構成(家族以外の構成も可)

### みんなの掲示板

#### 福岡歴史探訪ガイドと行く平尾まち歩き

平尾山荘や松風園などを巡る約2時間のコース。期11月17日(木)午後1時半～3時半 定先着30人 料800円(松風園での抹茶と菓子代500円を含む、別途施設入場料100円が必要) 申問往復はがきに参加者全員の住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて11月10日までに福岡歴史探訪ガイド・井上(〒810-0064地行三丁目22-13 ☎771-6773)へ。

#### 歴史探訪「西公園光雲コース」に参加しませんか

西公園内の神社や史跡などを巡る約2時間半のコース。期所11月19日(土)午前9時半に西公園入口鳥居付近に集合 定先着20人 料300円(資料代) 申問電話で郷土史のぼもん倶楽部・黒川(☎090-2082-6608)か当仁公民館(☎751-6824)へ事前申し込み。



「児童虐待がなくなるように」と願いを込めてリボンをかけるオレンジリボンツアー

### オレンジリボン運動とは？

この運動は、平成16年に起きた、当時3歳と4歳の兄弟が激しい虐待を受けて命を落とした痛ましい事件をきっかけに、栃木県小山市で始まりました。その後、子どもへの虐待防止を目指す運動として全国に広がりました。オレンジ色は、子どもたちの明るい未来を表しています。



オレンジリボンは子ども虐待防止活動のシンボルマークです。

児童虐待防止法が施行された11月は「児童虐待防止推進月間」です。区は、庁舎に懸垂幕や小さなのぼり(写真右下)を設置して児童虐待の防止を呼び掛けます。また、11月4日(金)午後0時45分から、地域の団体と協力して区役所前などでオレンジリボンマークのディスプレイを配る街頭キャンペーンを行います。

「ちょっと気になる」を気軽に相談ください。地域でのびのびと子育てができるよう温かい見守りをお願いします。「最近、よくけがをしている子がいる」など、気になる子どもがいたら、子ども相談窓口にご相談ください。

相談によって救われるのは子どもだけではなく、保護者も、周りに支援してくれる人や話を聞いてくれる人がいます。

子ども相談窓口  
区子育て支援課(☎718-1106)  
こども総合相談センター(えがお館) 24時間受付(☎833-3000)

11月は児童虐待防止推進月間です

「ちょっと気になる」を気軽に相談ください

## みんなで守る子どもの笑顔 「児童虐待のない中央区を目指して」



## ごみ減量とリサイクルを考える絵画ポスター展 ～環境を守りたいという子どもたちの思い～

区は、子どもたちの環境問題への関心を高めるため、小・中学生を対象に絵画・ポスターを募集しコンクールを行いました。環境へのさまざまな思いを描いた力作が多数寄せられ、審査を経て次の通り入賞者が決定しました(準特選以上、順不同、敬称略)。入賞作品全33点を、11月7日(月)～11日(金)に区役所1階まちかど文化ひろばで、11月16日(水)～30日(水)にノラリア・パークサイド・ギャラリー(天神二丁目1-1)で展示。



### ◇小学生低学年の部

【区長賞】岡村心由希(高宮小1) = 写真左【特選】

大石采佳(南当仁小2)【準特選】田中茉衣(赤坂小3)

### ◇小学生高学年の部

【区長賞】田中航平(鳥飼小6) = 写真右上【特選】北川なつめ(鳥飼小6)【準特選】高橋遥(赤坂小4)、岩元みずす(小笹小4)

### ◇中学生の部

【区長賞】和田菜月(高宮中2) = 写真右下【特選】高岡雛(福岡教育大学附属福岡中1)【準特選】山本京奈(福岡教育大学附属福岡中1)、居石将太郎(高宮中2)、原田更紗(高宮中2)



チンパンジー舎が新しくなりました。以前のチンパンジー舎は、おりで囲わない開放的な施設でしたが、ストレスによる威嚇や「ふん投げ」「唾吐き」など来園者に対する問題行動がたびたび見られました。このような状況を改善できないか、担当飼育員やチンパンジー研究者と話し合ったところ「施設をまるごと、おりで囲んではどうか」との提案がありました。私は、他の動物園で行っているチンパンジーの展示手法と違うし閉鎖的ではないかと疑問を持ちました。し



新しい施設はまるで大きなジャングルジム

新しい施設になってチンパンジーの行動はどうか。たか見に来ませんか。(動物園施設係 森満尚)

かし、おりで囲われた近隣の施設を視察すると、そこにはおりを使って自由に移動し、楽しく遊ぶチンパンジーの姿がありました。人間から見たら閉鎖的に感じられるおりですが、チンパンジーにとっては自由に動き回れる空間となるようです。当園のチンパンジーたちも活動範囲が増え、ストレスも減るのではないかと考えました。もちろん、来園者が、より身近で生き生きと動き回るチンパンジーを楽しめるよう、ガラス張りの通路などさまざまな工夫も取り入れました。

